

## 第7回東京都北区資源循環推進審議会 議事録

日時：令和6年3月18日（月）14:00～15:14

場所：北区役所第一庁舎4階 第1委員会室

出席者：

委員	[出席] 山谷会長、上遠野副会長、松波委員、平田委員、すどう委員、山崎委員、青木委員、 安達委員、塚本委員、古賀委員、大貫委員、小笹委員、岡本委員、松本委員、 山下委員、成川委員、鰐淵委員、田村委員、齊藤委員、藤野委員
事務局	雲出生活環境部長、橋本リサイクル清掃課長、荻田北区清掃事務所長 リサイクル清掃課 北区清掃事務所 中外テクノス株式会社（コンサルタント）

[次第]

1. 答申
2. 各委員から（感想）
3. その他  
（1）事務連絡について

[配付資料]

- ・第7回東京都北区資源循環推進審議会次第
- ・資料1 答申修正箇所抜粋
- ・資料2 持続可能な循環型社会の形成に向けた、  
今後のごみ減量の推進について 答申

〔議事〕

開会

### ○事務局（生活環境部長）

皆さまこんにちは。本日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。

ただ今から、第7回東京都北区資源循環推進審議会を開催させていただきます。

今回も、当会場でのご出席がかなわなかった委員には、オンラインでご参加をいただいております。

また本日、審議会が最終回でございます。2年間に渡りご審議をいただきまして、皆さまのおかげをもちまして答申がまとまってまいりました。答申を会長から区長に後ほどお渡しいただき、区長からご挨拶をいただく予定となっております。

それでは進行につきましては会長にお願いいたしたいと存じますのでよろしくお願いいたします。

### ○会長

お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございました。

本日は最後の審議会ということで、本日を入れて計7回、小委員会を6回開催しておりますので、併せて13回、開会させていただきました。皆さまの熱心なご議論があって、ようやくここまでたどり着くことができたということです。引き続きよろしくお願ひしたいと思います。

それでは、まず本日の出席状況等につきまして、事務局からお願いします。

### ○事務局（リサイクル清掃課長）

事務局です。本日は会場に19名、オンライン参加の1名を加えまして、委員20名の出席をいただいております。審議会の定足数である過半数を満たしているため、本審議会は有効に成立しております。

続きまして、今のところ傍聴の方はいらっしゃいませんが、当審議会は原則公開となっておりますので、希望される方がお見えになりましたら、傍聴席にお通しいたします。

続きまして、資料の確認をいたします。資料につきましては、郵送またはメールによりまして、事前に送付させていただきました。改めてご確認をお願いいたします。まず、次第の資料一覧をご覧ください。事前にお送りいたしました資料は、今ご覧いただいております次第、資料1「答申修正箇所抜粋」、資料2「持続可能な循環型社会の形成に向けた、今後のごみ減量の推進について 答申」、事前送付いたしました資料は以上です。

不足はございませんでしょうか。不足がございましたら挙手によりお申し出ください。

続いて、会議におけるご発言についてです。本日、オンラインの参加の方もいらっしゃいますので、会場の音声をきちんとお届けするために、ご発言の際には、必ずマイクをご使用いただきますようお願いいたします。あわせて、会場の皆さま、並びにオンライン参加の方におかれましても、ご発言の際には、挙手をお願いいたします。

また、オンラインで参加の方は、会議中はカメラをオンの状態にしたまま、ご参加いただきますようお願い申し上げます。以上です。

### ○会長

ありがとうございます。それでは、前回第6回の審議会から、4ヶ月以上経っておりますので、この間の動きにつきまして、事務局からご説明をお願いします。

## ○事務局（リサイクル清掃課長）

前回、第6回の審議会が、昨年11月2日に行われました。その後、12月1日から1月5日まで答申案に対する区民意見募集を実施し、11名の方から25件のご意見を頂戴いたしました。

1月11日に小委員会が開催され、いただきましたご意見について「審議会の考え方」などをおまとめいただきました。

その結果をもとに、1月22日から29日まで、区議会の各会派・無党派議員からの意見聴取を実施し、特段のご意見はございませんでしたので、そのことを小委員会へご報告させていただいたうえで、2月2日付で実施結果を委員の皆さまにお送りいたしました。

さらに、2月22日には、本日の審議会に向けた小委員会を開催していただきました。

2月29日に、区議会の所管委員会である区民生活委員会へ、区民意見募集の実施結果を報告いたしました。その翌日、3月1日から実施結果をホームページなどで公開しております。

審議内容に関する状況につきましては以上となりますが、先週3月15日に令和6年の区政功労者表彰がございました。当資源循環推進審議会の会長として、3期に渡りご尽力いただきました山谷会長が、保健衛生功労において、表彰されました。また、同じ保健衛生功労において、松本委員が清掃協力会の正副会長として、さらに、産業経済功労においては、大貫委員が法人会副会長として、それぞれ表彰されました。表彰された方々におかれましては、長年に渡り北区政にご尽力いただきましたこと、誠にありがとうございます。

以上です。

## ○会長

これまでの流れの説明ありがとうございます。

事務局からの説明にもでてきました小委員会での議論につきまして、委員長を務められた○委員から報告をお願いします。

## ○委員

それではまず、1月11日に開催した小委員会について、ご報告いたします。

先ほど事務局からも説明がございました12月1日から約1か月間実施した「区民意見募集」により、区民などから寄せられた意見について、意見とその回答となる「審議会の考え方」をまとめました。区民などから出された25件の意見のうち、ほとんどは答申案の記載から読み取っていただけるものと判断し、その他、区に対する意見などは区に伝えることとして整理いたしました。また、2件については答申案を修正することといたしました。

続きまして、2月22日に本日第7回審議会に向けた小委員会を開催いたしました。

この小委員会では、本日の議事の流れなどについて細かく確認を行いました。

また、答申については、区民意見募集の結果などを踏まえ、修正内容を確認しました。区民意見募集では答申の内容に対する修正のご意見は見受けられなかったこと、小委員会でのとりまとめをご一任いただいていたこと、そのほか修正のほとんどが軽微なものであることなどから、小委員会で確認した内容をもって、区長への答申とすることといたしました。これらを踏まえ、事務局に本日の資料作成を指示いたしました。

以上、小委員会の報告でございます。

## ○会長

ありがとうございました。2年間に渡って、皆さまからご意見を、頂戴いたしまして、ようや

く、ここまでたどり着いたという状況でございます。区民意見募集におきましては、区民の皆さまからも議会からも答申案の内容についてのご意見はございませんでした。皆さまに作り上げていただいたもので、概ねご理解いただいたということと理解しております。

そこで、ただいま小委員会委員長から説明がございましたけれども、軽微な修正にとどまったということから、本日の資料としてお送りし本日ご持参いただいたもので答申とさせていただきます。いかがでしょうか。よろしいですか。

はい、ありがとうございます。

なお、5年前の答申と同様に会長からのコメントを目次の前に付けております。答申は、送付させていただいた資料のとおりとしまして、このあと区長に直接手渡しをさせていただきたいと思っております。

本日の流れですが、区長に答申を手交した後で、委員の皆さまから一言ずつご意見ご感想を頂戴する時間を設けておりますので、そこで皆さまのご意見ご感想をお聞かせいただければと考えております。

それでは、次第に沿いまして議事を進めたいと思っております。議題の1、答申です。この議題は、事務局から進行いただければと思っております。お願いいたします。

#### ○事務局（生活環境部長）

それでは、事務局で進行させていただきます。

審議会会長から山田区長へ答申をしていただきたいと思います。存じます。

答申文の写しは皆さまのお手元に「資料2」として配付しているものでございます。

区長の入室まで、いましばらくお待ちくださいますようお願い申し上げます。

（区長入室・着席）

それでは、審議会会長から山田区長へ、答申をお願いいたします。

#### ○会長

答申、「持続可能な循環型社会の形成に向けた、今後のごみ減量の推進について」。

令和4年5月12日付で諮問のあったこのことについて、当審議会の意見は別紙のとおりです。

令和6年3月18日、東京都北区長山田加奈子殿、資源循環推進審議会会長山谷修作。

どうぞお受け取りください。

#### ○事務局（生活環境部長）

ありがとうございました。それでは、山田区長よりご挨拶申し上げます。

#### ●山田区長

ただ今、山谷会長から「持続可能な循環型社会の形成に向けた、今後のごみ減量の推進について」、答申を頂戴いたしました。

山谷会長、上遠野副会長をはじめとした資源循環推進審議会の委員の皆さまには、お忙しい中、二年間に渡りまして、7回の会議のなかでご議論をいただき、今回の答申をおまとめいただきました。これから北区として取り組むべき課題、またそれに対する具体策、この内容を取りまとめいただきましたこと、改めましてこの場をお借りし、感謝申し上げます。

ありがとうございました。

いただきました答申内容につきましては、令和6年度に改定予定となっております、一般廃棄物処理基本計画の改定作業の中で具体化をさせていただき、計画に反映していきたいと考えております。さらに、その計画に基づき、2050年北区ゼロカーボンシティの実現に向けて、区民、事業者、行政がそれぞれの立場で「今、自分たちにできること」として取り組んでいけるよう、しっかりと施策を進めていきたいと思っております。

それには、ごみの発生抑制、そして排出抑制、この2点について施策として進めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、この場をお借りしまして皆さまにひとつご報告をさせていただきたいと思っております。先日15日、北区創立の記念日に区民の方々の区政功労者表彰をさせていただきました。

今回この審議会の中では、山谷会長が3期に渡り、資源循環推進審議会の会長をお務めいただきました。そのご功績を区政功労者として表彰させていただきました。改めて、長きに渡りご尽力いただきましたこと感謝申し上げます。ありがとうございます。

最後になりましたが、委員の皆さまにはさらなる、それぞれのお立場でのご活躍をお祈りいたしますとともに、今後とも、北区のリサイクル清掃行政に対して、是非ともご意見ご指導を賜りますことを心からお願い申し上げ、感謝のご挨拶とさせていただきます。

本当にありがとうございました。

#### ○事務局（生活環境部長）

ありがとうございました。

それでは、山田区長はこの後別件の公務がございますので、ここで退席させていただきます。

#### ○会長

はい、ありがとうございました。

では続いて、議題の2に入りたいと思います。委員の皆さまから一言ずつ、ご感想等いただきたいということでございます。〇〇委員からお願いいたします。

#### ○委員

皆さま、ありがとうございます。〇〇でございます。

資源循環推進審議会の委員としては今年度のみ参加となりましたが、私自身、この答申が決まっていく段階に参加できたこと、共有できたこと、今後の活動にもつなげることができることを確信しておりますし、また、北区の具体的な未来へつなげていく循環型社会への一歩、また新しいステップに進んでいく段階でもあります。2030年のSDGsのゴールに向けて、その先の北区が目指すゼロカーボンシティの実現に向けて大切な一歩となる場所に共有できたこと、本当に感謝を申し上げます。

私自身も各地域の課題、そして北区の課題と捉え、引き続き情報発信をする側でも情報を受け取る側でも、地域の皆さまとまた語り合って、北区のごみ削減のためのプロジェクトを進めていけたらなと思っておりますので、本当にありがとうございます。

#### ○会長

ありがとうございます。

続きまして、〇〇委員、お願いします。

#### ○委員

〇〇と申します。本当にありがとうございました。

1年間、私も去年からなので途中からの参加になってしまったので、最初から参加したかったというのが正直なところではございますが、ただ後半部分になるにつれ、現実的な早く進めていかなければいけない議題というのが数多くあったのかなと思っています。

その中で、答申は答申として、意見を少しだけ述べさせていただきたいのですが、まず、一つはペットボトルの回収、これは今、コンビニエンスストアなどで何個か入れるとカードにポイントが貯まるようなシステムが出来上がってきているかと思えます。こういった取組みというのはすごく大事と思っていて、要はポイ捨てるのではなくてポイ活していこうという、そういう感覚がすごく大事で、区としてもこういったものをいろいろ取り入れていただけたらなど。協定を結んでいただいたりとか、そういったことも考えてみていただきたいですし、今、地域通貨も区のほうでは議題に挙がってきておりますので、実現したときには、ぜひ区のいろんな施設でもポイ活ができるような取組みも進めていただけたらありがたいなと思えます。

もう一つは戸別収集です。今の段階では広げるのがなかなか難しいというのが議論の中でもさまざまあったかと思っています。ただ、求めていらっしゃる声というのは非常に多く、私自身も伺っております、やっぱり一日も早く進めていきたいということがあります。もちろん清掃工場のことやいろんな課題があることも認識はしているのですが、早くやっていきたいなと思えます。また、実現するまでには集積所の環境衛生などがどういうふうに保たれていくかというのが非常に大事になってくるかなと思っています。特に捨ててあるものに対して、分別が合わなかったときにシールを貼って置いていかれることが結構多いかと思えます。私もちょこちょこ目にするのですが、場所によってはかなり長い期間そのまま放置されています。気が付かれなかったのか分からないですが、放置されてしまっているのも散見されるということも伺っておりますので、こういった取組みに関しては、もうちょっと目立つようにしていただいたり、地域の住民の方々にもしっかりと周知をしていくことも非常に大事なことになるのかなと思っております。

戸別収集を実現することがゴールになるかどうかは、やってみなければ分からないところはありますけれども、まずできるところというのは、集積所の環境衛生をしっかりと保っていただきたいということを改めて要望、意見として述べさせていただきたいと思えます。

今後ともしっかりと区政のほうでも取り組んでまいりたい議題がたくさんございましたので、しっかり我々もやっていきたいなと思っております。よろしく申し上げます。本当にありがとうございました。

#### ○会長

ありがとうございます。

そのポイ活というのはいいですね。私もいつでも出せるようにポケットに入れておきます。

〇〇委員、お願いします。

#### ○委員

皆さま、大変お疲れさまでした。〇〇です。

私も、資源循環推進審議会委員というのは今回初めてだったのでですけども、自分が参加して、こういう言い方は語弊があるかもしれませんが、とても楽しかったというか、世界的、グローバルに気候危機も含めた大きな課題を、北区として、区民の一人一人として、また事業者の活

動として、また行政としてどんなふうに身近なところからしっかりと解決をしていくのかという積極的な提案、またそれぞれの委員の方々からお話を伺えて、私もとても前向きに向かえた審議会だったなと思っております。

この答申の中で改めてごみにしないという資源循環の、製品またその行動みたいなものを、答申をきっかけにさらに進めていけるように私も参加していきたいなと思いました。

そして、今後の課題で出ている一つ、〇〇委員もおっしゃっておられた戸別収集の地域拡大は、私自身は、一律ではいけないけれども優先順位をつけて地域エリアから進めていくための答申として前に出たというふうに受け止めております。私自身も引き続き議会の中でこの方向でしっかりと地域の課題について頑張っていきたい、その方向で力を尽くしていきたいと思っております。

本当に皆さま、ありがとうございました。

#### ○会長

ありがとうございました。

〇〇委員、お願いいたします。

#### ○委員

〇〇と申します。皆さま、大変お疲れさまでございました。

私も、環境問題とか資源循環とか非常に関心がありまして、今回委員にぜひなりたいたいと思って手を挙げて入れさせていただきました。1年間でしたが私自身も学ぶこともたくさんありましたし、また、いろいろな意見なども述べさせていただいて、入れたことが本当にありがたかったなと思います。

そして、同じことになるのですけれど、本当に訪問収集、戸別収集はありがたいということを私もたくさん聞いていますし、また少しずつ進めばいいなと思います。

プラスチックなどもそうですけれど、周知がどんどん進んでいって、区民の皆さまの意識がまたさらに向上して資源循環が進んでいくといいなと願っております。

今後も皆さまの声をしっかりと受け止め、区政のほうに反映させて取り組んでまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

#### ○会長

ありがとうございました。

次は〇〇委員、お願いします。

#### ○委員

〇〇と申します。まずは、長年に渡りまして議論していただきましてありがとうございました。

私としてはITなどを進めることがモットーでございまして、IoTツール、防犯カメラを使った不法投棄対策だったり、また業者さんがITツールを使ってもっと業務を効率化していく、そういったことがきちんと答申に書かれているということについて、素晴らしいなと思っております。

また、今、区議会におきましてもペーパーレス化が大変進んでおりまして、かなりの経済効果が出るぐらい紙の量を減らしているということもありますので、そういった我々ができることから少しずつ資源のことについて考えていき、実践していきたいと思っております。

こういった考える場を与えてくださりまして、ありがとうございました。

#### ○会長

ありがとうございます。

次は〇〇委員、お願いします。

#### ○委員

〇〇でございます。

我々事業者としては、商店街ですからお店がでございます。その店のごみをいかに少なくしていくかというのは非常に大事なことです。プラスチックごみについて、我々はプラスチック容器に食品を入れて販売しておりますので、それをどうしたら少なくできるかということが、これからやっていかなきゃいけないのではないかと考えています。

ただ、お客さんもマイボトルじゃなくてマイカップというのがなかなか難しいということもございますので、何とかいい方法があればなと思っております。これが一番多いことじゃないかなと思います。

また、量販店のプラスチック容器について、どこでも、量り売りはなかなかやっているところは少ないと思うのですが、容器に貼ってあるラベルがなかなか取りにくい。私、前回か前々回にちょっとお話したことありますけれど、ラベルがはがれないときはどうしたらいいですかと言ったとき、はさみでそこだけ切ってくださいというお話がございました。

ただ、私も委員になってからだんだん意識するようになり、店だとかうちのごみ、プラスチック容器をちょこちょこ見るようになって、そうしたときに、私が見た感じ、まだまだラベルを全部貼り付けたまま出しているところが相当あります。

そうしたとき、区ではそういうものをどう処理しているのか、仕分けするのも大変じゃないかなと思って、それだったら最初からラベルが出ないとか、あるものはなんとかきっちり外して、付いているものはちゃんと可燃ごみのほうへ入れてくださいよときっちり皆さんにお知らせしたほうがいいと思いました。

量販店には、シールを取りやすいものにしてもらう努力をしてもらうのが一番かと思います。ただ、全国展開の量販店ですから、北区だけで言ってもどうしようもないので、東京都がもっと上のほうに言って、そういうことを推進していただくのがいいのではないかと考えております。

以上でございます。

#### ○会長

ありがとうございました。

〇〇委員、お願いします。

#### ○委員

〇〇です。区内で町会団体の皆さま 180 団体ほどと契約をさせていただいて、古紙の集団回収を中心に回収をしている事業者の集まりの専務理事を務めております。

この席には、唯一、資源回収の事業者という立場で参加したのは、たぶん僕だけかなと思うのですが、排出者の皆さまがごみ出しのときに感じる注意点と、われわれ業者が回収時に感じる問題点、そして回収後の問題点というのが気になったので、その観点からこの審議会では発言をさせていただきました。

審議会のタイトルが資源循環推進審議会と考えた場合に、以前は東京都もそうでしたが、1950



年代のごみ戦争あたりのときは、とにかくごみを減らそう、資源化しようで話が終わっていたのですが、近年になって資源化したものをちゃんと皆さんで使おうという考えがいろんなところで出てきておまして、審議会でもしっかりと生まれ変わったものを使いましょうという話が出たのは、私の中では一つの成果だったかなと思っております。

ごみ戦争は1950年代だったのですが、今後ごみを減らすために資源化した材料が使われなくて余ってしまうという問題点はこの先必ず起きるのではないかとというのが、私が心配しているところです。そのときは、やはりごみ戦争と同様にせつかくごみを減らしたのに、またそれがごみになってしまう時代が生まれてしまうので、そうならないよう今後は生まれ変わったものをいろんな部門で使えるように、ということを念頭に置いた活動を私自身もしていきたいと思っておりますので、せつかくこの場で知り合った皆さまにはその点でご協力をお願いしたいと思います。あいさつに代えさせていただきます。ありがとうございました。

#### ○会長

ありがとうございます。

○○委員、お願いいたします。

#### ○委員

○○でございます。

私は、事業者の立場からいろいろ考えさせられることが大変多くありまして、特に今こうした時代の変化の中で事業者として資源循環型社会へどのように対応していくかということが、私ども、日常の仕事の上でも大変重要なことだと考えています。そうした、いわゆる時代の変化、環境問題に対応した事業をいかに進めていくかということを改めて学ばせていただきましたし、我々会員の中でもこういった視点をしっかり持つということをやってまいりたいと思っております。

もう一点、私は北区に住んでおりますので、住民の視点でいろいろ考えさせていただきました。いろんな問題がありますけれども、私自身がこの地球の中で生きる人間として、これからどのようなライフスタイルを、どういった意識を持って対応していくかということが、そういった意味で非常に大切だということで、事業もそうですが、住民としての対応、いわば生きていくことにいろいろな問題を突きつけられている状況です。これから資源循環型社会を構築していく、地球環境問題のことをやっていくっていうことは同一の問題だと思いますので、そのあたりについてしっかり考えて、ご検討いただいた中身をさらに吟味をして新しい生き方を構築してまいりたいと思っております。

大変勉強になりました。ありがとうございました。

#### ○会長

ありがとうございます。

○○委員、お願いします。

#### ○委員

○○と申します。

私どもは、元々は工場協会という名前で、王子、赤羽、滝野川と3つの工場協会があったのですが、合併して現在の団体になって、主に工場が多かったのですが、今は工場以外の方も会員としております。

事業者でございますので、全ての排出物は事業者の責任で処理するということになっておりまして、なるべく無駄を出さないようにすることが企業として利益につながるもので、そういったことをやっております。また、事業者の団体として、私どもの会員さん等が集めた古紙を1週間おきにリサイクラー事業協同組合に収集へ来ていただいております。事業系の古紙を集めようというのは、元々この会でできたもので、かなりの期間継続しております。

また、会員さんは、SDGsの12番、つくる責任ということで、皆さんかなり真剣に取り組んでおるところでございます。私どもは印刷業ですので、例えば印刷インキも昔は有機溶剤で水と油の反発で印刷をしていたのですが、有機溶剤を大豆インキに替えて、ただ100%替えるわけにいかないの比率をだんだん上げるようにして、インキの製造メーカー等とも協力をしながら、環境に優しい資源を使って事業を進めているところでございます。

事業者ですが、住まいと会社は別なものですから、一区民としましても住まいのほうは区のごみ収集をお願いをして、会社は違うルートでやっております。プラスチックについているシールについてですが、紙のシールが貼ってあってはがして出すのは大変だなと思って、いつもはさみで切って出しています。これも石油系の材料にしてもらえればそのまま剥がさずに出せるようになるなど考えておりました。そういうシールもうちで印刷していますので、よければぜひご注文いただければと思います。

以上でございます。

#### ○会長

ありがとうございます。

それでは、〇〇委員、お願いいたします。

#### ○委員

〇〇と申します。

私は、7月の人事異動で現在の職に就きましたので、途中からの参加でしたけれど、会長からも2年間に渡る審議の結果ということで今回答申をいただき、行政側としてはこれから答申を受けて具体策の検討に入るということで、一般廃棄物処理基本計画の改定を控えておりますけれども、ここからの行政の責任は非常に重いと受け止めています。審議会の皆さまから大変なミッションを受けたと思っていますので、その実現に向けて今後、具体策を検討してまいりたいと受け止めているところです。

2050年のゼロカーボンシティ、2030年のSDGsといった大きな目的に向け、その目的を達成するためのさまざまな具体策の検討になります。今回の答申の中でも、委員の皆さまからも今ありました、戸別収集あるいは有料化の話など、非常に大きな課題等もございます。こういったものも、ゼロカーボンシティやSDGsの目的達成に向けて、適正排出をしていくための具体策だと受け止めていますので、今後しっかりと検討を進めていきたいと思っています。

実現に向けては、財源の問題や実施体制の問題、さらに検討を深めていかなければいけない課題はあるのですが、そこはしっかりと庁内でも議論を深めて具体策を進めてまいりたいと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

#### ○会長

ありがとうございます。

続きまして、〇〇委員、お願いいたします。

## ○委員

よろしくお願ひいたします。私も当審議会に参加できまして大変よかったですと思います。

今までは、ごみと一緒にプラスチックもどんどん入ってしまっていたのでごみの量がすごく多くて大変だったのですけれども、今は回収のごみが大変少なくなって、かえってプラスチックのごみのほうが多い気がしております。どんどんプラスチックのごみがたまっていくのですが、何とか一生懸命回収に協力して、社会のために役立ったのではないかなと思っております。

これが区政と住民の協力によってますます盛んになることを期待いたしております。プラスチックの回収で生まれ変わったものが無駄にされるという話が出ましたが、無駄にならないような方法をとって、ますます盛んにやっていただきたいと思っております。

大変いい審議会に出席させていただきまして、本当にありがとうございました。

## ○会長

ありがとうございます。

続きまして、〇〇委員、お願いします。

## ○委員

〇〇です。

ごみの問題は、昔は区役所と清掃部門とは別だったと思います。ごみを出すのに区役所は関係なくて、収集車は東京都から来たりしていましたが、何年か前から北区が担うようになったと思います。

ごみの問題は、個人個人の問題であり、企業は企業ごとの問題で、うちは産業廃棄物に出したり、段ボールとかは分別して〇〇委員のほうにお世話になったりしています。そういうことをはっきりと区別ができるようになったことによって、滝野川地区は非常にきれいな街になってきたと思います。

今お話がありましたように、プラスチックとか燃えるごみ、燃えないごみ、お話しても初めはなかなか区別できなくて、いろいろ質問されたりしましたけども、今はようやくスムーズに出せるようになりました。ただ、ときたまマンションの方がぼいと何でもかんでも捨ててしまう場合があるので、そういうこともかなり管理者に説明しております。ですから、企業の燃えないごみとかはまだまだ大変だと思います。お金がちょっとかかったりするのです。

また説明があると思いますが、この間リサイクルプラザのアイクルを見に行きました。資源回収したものがみんな区分けされて、ペットボトルでワイシャツができるとか、いろいろと見てきましたが、そういうのを見ていると、一般の方々も、じゃあどんどんそういうものを出さなくちゃ、協力しなきゃいけませんね、となると思います。プラスチックについて先ほどシールが剥がれないという話がありました。確かに剥がれないですけど、取るのは面倒くさいですよ。でも、ああいうのを見ていると、出すときにしっかり出さないと、請け負う方もかなり人件費がかかったり、非常に大変みたいですから、やはり住民、区民の方が一つずつ物事をやっていかないと、向こうで区分けしていますから本当に大変です。

そういうのももっとたくさん一般の方に見学して見てもらうと、我々が出したものがどういう形で流れていくのか勉強になります。私も何回も行っているのですけれども、今回のアイクルは特にはっきりと、非常に詳しくものが出ていますので、今まで以上にいい見学になったと思います。そういうのをどんどん進めてもらいたいと思います。

いろいろと苦勞なさっていると思いますけれども、これからも区民が一生懸命、一人一人がしっかりやれば街はきれいになると思います。ごみもうまくいくのではないのでしょうか。

戸別収集がいいか集積所がいいか、これはまたいろいろと皆さんと検討しながら、滝野川は今、戸別収集でみんな喜んでいますが、王子、赤羽ではいろいろとまだ解決してないようですから、よろしく願いいたします。

#### ○会長

ありがとうございました。

○○委員、お願いいたします。

#### ○委員

リサイクル施設のアイクルの話をしようと思っていましたが、○○委員から話していただきました。でも、私の感想としてアイクルの考えを話してみたいと思います。横須賀市のリサイクル施設アイクルを見学させていただき、再生するって本当に大変なことなのだなと初めて思いました。例えばペットボトルの出し方とかも、よくお話を聞いて町内の人たちにも話して80%は結構うまくいっていると思っておりますが、私も知らなかったことでびっくりしたのですけれども、ビニール袋の2重袋はやめてくださいということでした。

私たち主婦は、ちょっと水が垂れたりすると嫌だから、大変だからということで、普段2重、3重袋にして出していたのです。それが、アイクルさんに行きまして、2重袋、3重袋の手間が大変らしいのです。何回も何回も機械にかけて出さなくてはいけないということに衝撃を受けました。リサイクルってこんなに大変なお仕事なのだと本当につくづく思いまして、知らないことが思ったより多いのだと反省しております。私は町会の女性部の役割として、そういう話を反省しまして、町に戻って、現場はこうだったよ、リサイクルはこんな大変だよということを町会の人たちに話しました。

2年間参加させていただき、本当に勉強になりました。また貴重なお話も聞かせていただきまして、大変ありがとうございました。よろしく願いします。

#### ○会長

ありがとうございます。

○○委員、お願いします。

#### ○委員

○○と申します。

団体としてというより一区民としての意見を持っており、個人的にはこういう活動を40年以上やってまいりましたので、生ごみの件とかは繰り返しという感じになるのですが、それでも、今度はプラスチックのことが多く出てくるようになりました。

今日、スーパーへ行ったのですが、そこではプラスチックのペットボトルを集めています。そのペットボトルを、1メートル四方の箱の中からビニールを出している方がいらしたので、1日に何回ぐらいやるのですかって伺ったら、ふだんは6回ぐらいだけどイベントの日は少なくとも10回は取り換えているそうです。そんなにペットボトルが集まるのですかって言ったのですけど、何本で何ポイントとか書いてありました。だから皆さん大きな袋を持ってこられて、1本1本きれいに洗ったのをに入れて、キャップは隣に入れてらして、ああ、よかったな、こんなにちゃんと皆さんやっていらっしゃるのだと思いました。私たちは、回収の日に、ペットボトルの

回収袋に入れるようにしていますが、わざわざそうやって持ってきてやってくださっているということ、手間だろうけどもいいことだなと思っています。

それから、前にお願ひしました、高齢者でごみ出しに行けない方の戸別訪問について、団地だと上のほうの階で行けない方がいらっしゃるのですが、そこへ集荷される方がすごい勢いでエレベーターを使わずに階段で上がっていて、どこへ行かれるのかなと思って見ていたら、ビニールのごみ袋をつかんでぱっと下りてこられて、すごいなと思いました。本当に感謝しています。これからも、ぜひお願ひしたいです。自分もその身になると思うので、ぜひ中止しないでやっていただきたいです。本当に感謝に堪えません。

それから、衣類の回収ですが、最近回収している箇所が少なく、皆さんどこへ持っていったらいいのかと私に電話をかけてくるのです。赤羽会館で集めているわよって言うけど、回収箇所が少なくなっていて、今は捨てるのがもったいないと思っている方がたくさんいらっしゃいます。そういうのも回収方法を地域で考えればいいのかもしれませんが、近くにそういう回収場所があったら、もう少し増やしていただけたらと思います。前からも言っているのですが、回収していただければと思っています。

それから、エシカルな製品を作った業者からなるべく買うようにする、というようなことを勉強させていただいたことがあります。私はなるべくそのマークの付いているものを見ながら買うようにしているのですが、まだまだ少ない感じがします。もし皆さんも気が付かれたら、リサイクルに協力するということで、エシカルの商品を買っていただけると、お互いに助かるのではないかなと思っています。

プラスチックのシールの話もたくさん出ましたけど、この前聞いてから私はちゃんと切って出しています。そうして下さいねっていうことを言ったら、液を使ったら取れるからそのまま出してもいいと言われたと言う人がいたのです。それは、はっきりさせていただきたいなと思っています。

以上でございます。本当に参加させていただいてありがとうございました。

#### ○会長

ありがとうございます。

続きまして、〇〇委員、お願ひします。

#### ○委員

〇〇でございます。

SDGsの目的、目標の中で、先を見据えた上で、今回の資源循環推進、資源を循環させて培っていくというのが、答申作成の中では一番の必要事項だったと思われまます。

また、審議会の中で検討した事項を決して無駄にせず、前を向きながら長期的に、今後、次の世代がどういうふう担っていくのかを考えていただかなければいけないような審議会だったと思っています。

また、5年先、10年先、自分たちの子どもの代に向かってどういうふうにごみ処理をしなければならないのか、今後の課題をもう一回気付かせられた審議会だったと思います。逆に今、解決しなければならない目先の問題点も多々あると思いますので、その辺もしっかりと見据え、一つ一つ横に線を引きながら、これを解決したな、あれを解決したなというような形で、行政も民間もしっかりと手を組みながら、一つずつ完全に解決の目標をつくっていき

ただきたいなと思いました。

また、〇〇委員、〇〇委員からありましたアイクルの件ですが、中間処理業者が東京都、区レベルでもないのです。横須賀は、横須賀市として中間処理業者で施設をつくられているにも関わらず、都内ではクエスチョンマークが出ますので、あれだけの施設、またあれだけのことをリサイクルさせるということにおいては、やはり都民の感覚に植え付ける必要性はあると思いますので、その辺はしっかりと指針を持って導いていただけたらいいのかなと思っております。

先ほどペットボトルの件もありましたが、地域といたしましては、ペットボトルを盗んで、それを自分のポイントにしてしまうとか、ごみ投棄に関しては個人それぞれのモラルの問題が必ずついて回るものなので、それをどうやって抑制するかは、おいかげごっこになってしまうのですけれども、やはり問題だと思っております。

地域としては、やはり安全安心なまちをつくっていくためには、その辺はしっかりと目を配らせなきゃいけない点だと思っております。

どうもありがとうございました。

#### ○会長

ありがとうございます。

続きまして、〇〇委員、お願いします。

#### ○委員

〇〇です。2年間ありがとうございました。

私は、こちらに参加させていただいて、行政でたくさん資料を作成したり、区民の皆さんもたくさんこういった持続可能な社会に向けてご協力いただいている姿を垣間見させていただく機会になりまして、大量廃棄、大量消費、そこをすごく次世代のためにというところで、私自身もずっと考えてきたところだったので、ものを大切にできる暮らしをやはり区民としてもこれからも頑張っていきたいなと思っています。

何度か生ごみについていろいろと申し上げましたけれども、私たち活動グループで提案書みたいなものを作らせていただいたので、後ほど終わりましたら配付させていただきますので、ぜひご一読いただければなと思います。

あと一つ、粗大ごみの件なのですが、今年から持ち込みごみができるようになって、私は家族が多いのと親戚が多くて、私が車を運転するものですから自分が持っていく機会が多かったので、回数の上限があって、今年度はもう持って来れないよ、来年度にしてね、なんて言われたりして、それは上限10個までというところを、2、3個で1回持っていったりしたので回数が増えちゃったこともあったので、そういった家族が多かったりという場合もあるということをお伝えさせていただきます。ご検討よろしくをお願いします。

どうも皆さん、ありがとうございました。

#### ○会長

ありがとうございます。ここで、オンライン参加の〇〇委員にお話しただきたいと思います。〇〇委員、お願いします。

#### ○委員

〇〇です。長い間本当にありがとうございました。

コロナ以降、家族や自身がコロナにかかったりしたことを契機に、オンラインでの参加が多

くなりましたが、皆さんにはいろいろご準備いただき、私自身もいろんな経験ができたことを大変ありがたく思っております。ありがとうございました。

中身についてですが、私自身、こういった行政に関わるのは初めてで、ごみという一つの大きな問題に対して、いろんな立場の方がいろんなことを考えて、北区を少しでも良くしようという気持ちでいろいろご発言されていることはとても印象深く、勉強になりました。本当にありがとうございます。

一委員としても、この取組みを実行したことで、今までも環境には興味があったり、勉強していたところもありますが、自分の区取組み以外にも、例えばお隣、板橋区であるとか、東京都の取組みそのもの、そういったものにも違いであるとか、どうして北区ではこれだけ進まないのだろう、逆に板橋区では進んでいるのだろう、取り組まないのだろう、そういったことにも自分事のように考えられるようになったことが、ここの委員の期間で変化したなど感じております。

きっとこういった取組みが今、答申という形で区民に開示されていきますが、それ以外にも、答申の中にあるように、取り組んだ結果、ごみが増えた、減ったであるとか、環境がよくなった、変わっていったということが区民の目に付いてくると、きっと少しずつ私事になっていくのかなというふうに感じているので、そういった変化もここ数年で起こってくればいいなと感じております。

最後になりますが、参加した最大のきっかけは、私自身は子どもを2人育てていて、子どもが最後、北区に住み続けたいなと思えるような地域にできればなという思いが一番大きかったです。それが、子どもだけじゃなくていろんな世代の方、今、少しずつ住民の数は回復していますが、少しでも多くの方が残ったり、定期的に来てくださればいいなということも思いながら、委員としてはいったん任期を終えますが、区民として活動を続けていければと思います。

ありがとうございます。

#### ○会長

ありがとうございます。

続きまして、〇〇委員、お願いします。

#### ○委員

〇〇でございます。

長い期間、廃棄物行政に携わることができまして、非常に勉強になりました。特にごみ問題、数ある環境問題の中でもごみ問題は非常に特殊な問題でありまして、他の環境問題、例えば温暖化とか、そういった問題は人間界から排出される汚染物が問題になります。対策は、その汚染物を除去するためのコストとして捉えられます。ところが、ごみ問題についてはそうではなくて、ごみは2面性を持っていて、どういうことかというところ、そのまま排出されますと汚染性を持ってしまいます。ところが、きちんと3R、リサイクルに回れば資源として循環できるという側面があります。その点が他の環境問題と大きく違う点でございます。そういう意味で、資源循環は、環境問題では特殊な性格を持っているものでして、そういうごみ問題に携わることができまして非常に勉強になった次第でございます。

さらに、ごみ問題は環境問題の中でも特に実践的というか、現実的なとても身近な問題です。そういう観点で、各委員の皆さまからさまざまな問題を提供いただきまして勉強になりました。

ことを感謝したいと思います。

以上でございます。

#### ○会長

ありがとうございました。

続きまして、副会長の〇〇委員、お願いします。

#### ○副会長

〇〇です。

この会議には一区民として参加させていただきました。でも、ただの一区民じゃなくずばらな一区民としてでした。つらいエコ、きついエコだについていけないなという感覚です。ですので、なるべくハードルを低くして資源循環に取り組める仕組みがあればと考えております。区民の方、事業者の方、議員の方、今回この審議会に参加している人たちは、皆さん初めから極めて意識が高く、この資源循環の問題に非常に高い関心を持っておられるということを改めて確認することができました。

これが全区民、日本国民全員であればいいのですが、残念ながらそうでないところが、また一つの重大な問題です。これをどう現実問題にすり合わせながら、よりよい資源循環社会につなげていくのかが、これから重要になってくると思います。それには、小中学校とか学校組織をうまく活用していくことも有効です。

先ほどから出ている容器包装についているシールやラベルの問題で、〇〇委員から非常にいいヒントを頂戴したと思うのですが、一つの異業種交流の場でもあるということ、この審議会でも改めて確認することができました。

自宅でやってきたばかりですが、途中まではがしてはがれないシールやラベルは、結局燃えるごみにしてしまいます。3Rの制度に何とか乗せられれば資源になるのに、残念ながらごみにしているものもたくさんあります。そこを、やはり生産者、流通業者に、日本の技術力をもって、このやっかいなハードルを少しでも越えるように取り組んでいただくと、もっと資源化は進みます。そういった意味で、この審議会にはいろいろな立場の方が参加しておられて、いろいろな考え方、意見を聞くことができ非常に勉強になりました。

どうもありがとうございます。

#### ○会長

副会長、ありがとうございます。

1時間近く皆さまの熱い思いをお聞かせいただきました。私にとりましても非常に参考になりましたし、また、行政にもきちんと受け止めていただき、参考にしていただけるものではないかなと思います。改めて、この委員の皆さまのご協力での答申を取りまとめるに至ったということにつきまして、お礼を申し上げたいと思います。

行政におかれては、区長もおっしゃいましたけれども、この答申をこの後の基本計画に反映させていただきまして、ごみの減量あるいは適正排出、もろもろの課題ございますけれども、そういう課題の解決に向けて着実に前進していただければと思います。

本日は、皆さまの貴重なご意見をお聞かせいただきまして非常によかったと思います。

それでは、最後の議題に移りたいと思います。「3、その他」(1)事務連絡をお願いします。



### ○事務局（リサイクル清掃課長）

事務連絡の前に、今後の予定を申し上げます。

先ほど区長からもお話がありましたとおり、本日皆さまから頂戴いたしました答申を受けまして、来年度には北区一般廃棄物処理基本計画 2025 の策定を予定しております。今年の秋ごろに、計画の素案に対するパブリックコメントを実施いたしまして、来年 2 月の区議会定例会の所管委員会に、策定した計画を報告させていただく予定です。新たな計画が完成いたしましたら、皆さまにもお知らせさせていただきます。

それでは事務局から 2 点、ご連絡させていただきます。

1 点目、本日いただきました答申につきましては、今週中を目途に、データをホームページ上に公開いたします。なお、その際には参考資料として、この間行ってまいりました、区民アンケートやごみの排出実態調査の報告書も閲覧いただけるようにしてまいります。また、本日の審議会の出欠確認の調査票において、答申の冊子版をご希望いただいた方には、印刷の完了後、ご送付させていただきます。

2 点目、本日の審議会の議事録につきましては、これまでと同様、皆さまに議事録原案としてお送りした後、修正等を経て、発言者のお名前を伏せたうえで、北区のホームページにおける公開と、所管課での閲覧に供させていただきます。

議事録原案をお送りした際には、こちらが最後となりますので、ご確認にご協力のほどよろしくお願いいたします。

事務連絡は以上です。

### ○会長

はい、ありがとうございます。

○○委員が今日お持ちになった資料を皆さまにお持ち帰りいただきたいということですので、お受け取りになってお帰りいただければと思います。特に皆さんから、何かご発言したいというようなことは、ありませんね。

それでは、予定しておりました議事は全て終了しましたので、事務局にお返しします。

### ○事務局（生活環境部長）

会長、ご進行ありがとうございます。

事務局から、結びとしまして、ご挨拶を一言だけ申し上げます。

会長、委員の皆さまには、様々なお立場から充実した議論を賜りまして誠にありがとうございました。答申の内容は、先ほど来からご説明しているとおり、来年度策定する区の計画の中で具現化してまいる予定ではございますが、今回、本日も含め様々な気付きやご検討を毎回いただいております。区としましては、できることから資源循環に向けた取組みを議会ともご相談させていただき、区民、事業者の皆さまとともに進めてまいりたいと思っております。

今後とも委員の皆さまには、ご理解とご協力をお願い申し上げます。私から事務局としての結びの挨拶とさせていただきます。

それでは、これもちまして、北区資源循環推進審議会を終了とさせていただきます。

皆さま、長い時間に渡りどうもありがとうございました。

(15 : 14)